



# 2023年所沢 SecretBase報告

子どもの声を聞ける地域へ

子どもにやさしいまちづくり

不登校生徒を  
減らす取り組み

学生の活動支援

学生の居場所支援

不登校支援

### こんな日がありませんか？

- 家から出れない
- 先生や友達が恐いと感じる
- 人が多い・大きな音が苦手
- 学校・勉強以外に居場所・やりたい事がある

### 支援の流れ

学校以外の自分らしくいられる居場所を作るのは利用している一人ひとり

- 01 面談**  
保護者と本人・保護者で面談することがあります。子どもだけの面談もOK
- 02 個別利用**  
職員との時間や一人で過ごす時間を保障
- 03 少人数生活**  
社会へ繋がっていく学生向けの少人数コミュニティの提供
- 04 取組・活動**  
学生同士の取組や地域活動支援から地域社会へ繋げていきます

9:30~12:00  
1回利用1,500円  
キャンセル料なし

### 2023年6月~1月末実績

#### 君の居場所（不登校支援）

登録者数	問合せ有 未登録者数	活動実績	保護者の集い
18名	14名	56名	13名
小学生 15名 中学生 3名 高校生 1名 大学生 1名 その他	小学生 7名 中学生 2名 高校生 3名 大学生 1名 その他 1名	小学生 48名 中学生 5名 高校生 5名 その他	保護者 8名 関係者 3名 大学生 2名 10月29日10:00~12:00まで

#### 放課後学生居場所

登録者数	問合せ有 未登録者数	活動実績
52名	13名	294名
小学生 3名 中学生 4名 高校生 19名 大学生 5名 ボラ 1名	小学生 1名 中学生 1名 高校生 15名 大学生 2名 ボラ	小学生 32名 中学生 15名 高校生 112名 大学生 113名 ボラ 22名

#### 学生活動支援

夏の勉強会	進路相談会	ネイル体験	分館文化祭
34名	61名	15名	300名
小学生 4名 中学生 7名 高校生 17名 大学生 8名 その他	小学生 400名 中学生 15名 高校生 34名 大学生 4名 保護者 8名 その他	小学生 2名 中学生 2名 高校生 5名 大学生 3名 その他 3名	目的 バルーンアート 所沢EU プラ板 レジン くじ引き

イタリア交流	WINTER FESTIVAL	ところティーンズ フェスティバル
クリスマス交流 Deledda80名 所高20名 若尾14名 Ami26名 イタリア総領事参加 一人前宇Deledda高校 4名 所沢小学 18名	130名 小学生以下 32名 1,2年生 16名 3,4年生 11名 5,6年生 6名 中学生 2名 高校生 1名 大人 42名 スタッフ 20名	2024年3月24日 「小中高大学生の横断文化祭」 学生の年齢と学校の垣根を超えた高校大学生が企画するイベント 新所沢公園・みどり児童館・中央公民館にて開催予定

新聞や種々の連絡は行っていません。



5月 6月



- 学生運営
- 組織作り
- 居場所づくり
- システムづくり
- 学生の代表・副代表の選出
- 不登校支援開始

7月 8月



- 不登校支援  
お休み
- 進路相談会
- 夏イベント企画(勉強会・ネイル体験・ボードゲーム大会・交流会)



9月 10月

- 学生運営振り返り
- 小手指公民館分館文化祭参加
- 大学見学・クリスマスイベント企画会議



11月 12月

- イタリア交流
- こばと児童館×「WINTER FESTIVAL」
- クリスマス会
- ところティーンズフェスティバル実行委員選出・企画





## 成果

- 不登校登録人数が増え、学生同士のコミュニティが少しずつ構築されてきた。
- 不登校の傾向や社会的な背景など、保護者の相談を受けることで見えてきた。
- 「保護者のつどい」活動の支援
- 以上の実績を教員や市役所職員と共有することで、連携や信頼につながるきっかけになった。
- 学生の居場所ができたことで、高校生の抱えている悩みを聞くことが増えた。学習の場や家庭の悩みなど、家庭や社会から大きな影響を受けていた。
- 学生の活動が発展していく中で、不登校生徒と一緒に活動する機会ができた。進路に不安を抱えている生徒が、進路について悩みを聞ける場所になった。
- イタリアの取り組みで学生同士のコミュニティが出来、インスタやLINEなどを交換し、定期的やり取りをする関係性になった。
- イタリア空軍100周年記念祭では、芸術総合高校と所沢高校からビデオメッセージを市長と撮影し、現地では高い評価を受けた。
- 市役所が高校生との接点がなかったことで、高校生を市役所に連れていき、LINEを活用した高校生との繋がりをつくることができた。
- 高校生の相談を受けたことで学校に行けるようになったり、進路が決まり、新たな一歩を踏み出すきっかけをつくることができた。
- 活動を通して、保護者や地域の方々から「高校生がこんなことができるんだね」と驚きと称賛の声を頂き、子どもや孫にも同じように経験させてあげたいと活動の内容を聞いてくれる方がいた。

## 今後の発展

- 医療機関含む関係機関と連携して地域で子どもを見守っていけるケース会議を開けるように検討。
- 学生の「やりたい」「やってみたい」を拾いながら企業や地域の大人をつなげていく事で具現化していくことで、選択肢と可能性を広げていく
- イタリアの学生との交流をさらに深めて、学生がイタリアへ短期留学できるようにしていく。また2026年の冬季オリンピックでは学生をイタリアへ連れていき交流ができるようにしていく。
- 学生運営が成り立つようにスタッフの拡充や質を向上させていく。



HPのQRコード



寄付して下さった企業・団体・個人の皆様、そしてご理解いただき応援して下さった皆様  
このような機会を頂きまして本当にありがとうございました。救われた人生と命、沢山の出会いをつくることができました。  
今後もどうぞご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。